

ガバナー月信

01 
世界に希望を生み出そう

02
Governor's message
ガバナーメッセージ

03
実施行事報告

04
グローバル補助金事業
タイ王国 シリキット
王妃国立小児病院に口
腔内視鏡カメラ一式の
贈呈

05
令和6年能登半島
地震被害状況

06
IFMRジャパン大会
北海道開催2024
のご案内

07 新入・物故会員

08 主要行事予定

09 国際ロータリー第2550地区
2月会員数報告

10 アクセス解析レポート



第18回(令和3年度) 写真コンテスト 銅賞
「春の花園」 立野 公克

vol.10
2024.4

R.I.D 2550 tochigi
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

Contents 
アイコンをクリックでそのページにとびます。

My ROTARY Rotary International 



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか



四つのテスト

R1第2550地区 2023-2024年度 ガバナー **三井福次郎** (佐野RC)



四つのテストは、職業を倫理的に行う為の具体的な行動の原理・基準、言い換えると、四つのテストは、職業奉仕の各論と言われています。私達は、例会の初めに、四つのテストという歌を歌っています。既に、ご存じの会員ばかりですが、今回は、新会員の為に、四つのテストの由来などについて、説明したいと思います。1930年代、アメリカを襲った経済の大恐慌の中で、倒産寸前の従業員250名位のアルミニウム製造会社がありました。その会社の再建を委ねられたのがシカゴRCの会員ハーバート・テラーという人でした。彼は、会社を建て直すには、先ず従業員の意識を改革しなければならないと思い、従業員の心を誇りと企業防衛に結集することに着手しました。その為には、正義こそ力の源泉であることを従業員全員が認識し、従業員が正しさに耳を傾け、それによって行動するような管理運営をやらなければならないと考え、それには、社内の誰でもが頭の中に納め、いつでも即座に対人関係に活用できるような標語みたいなものがないだろうかと考えました。ある朝、彼は思いついた言葉を書き留めました。それが『四つのテスト』でした。彼は先ずそれを自分で実行してみました。これならいけると確信し、各セクションの担当部長を集めて聞いてみました。部長の1人はカトリック信者、1人はユダヤ教信者、他の2人は信教徒でした。ハーバート・テラーは、宗教信条において異なる4人に四つのテストを示し君達の宗教上の信条に反するかどうか尋ねたところ、4人ともそんなことはないという返事だったので、直ちに、これを全社員に発表し実施することにしました。そして彼は、全商品の誇大広告を禁止すると共に製品の特徴や長所・短所も忠実に述べる事にしました。こうして当初、銀行から6千ドルを借りて再建に着手。5年後には元利金全額を返済し、10年後には押しも押されぬ一流企業に成長し、15年後には100万ドルの配当金を株主に支払う超一流の会社となりました。四つのテストのことが、シカゴRCに知れ渡るようになり、誰にでも容易に実践できる座右銘ということで、ロータリーの世界に浸透してきました。その後、ハーバート・テラーは、1954年R Iの会長となり四つのテストの著作権をR Iに譲渡し、彼は、ターゲットとしてこれを掲げ、全世界のロータリーアンがこれによって奉仕活動をやって行くように提唱しました。

真実かどうか (1)

ありとあらゆる契約類型の中で、最も我々が利用しているもの、これなしには生きて行かないものが“売買”です。物を売る時は物と満足を売り、お金を頂く時にはお金と感謝を頂戴します。目に見えるものは「物」と「金銭」の交換ですが、目に見えない「心の交換」を残すような売り手・買い手関係の基本的理解を確立することが必要ではないでしょうか。心の交流が尊敬と信頼、つまり信用という形で残ってまいります。この信用を重ねて行くことが商売や事業で最も大切なことではないでしょうか。ハーバート・テラーが「四つのテスト」を採用した時に、誇大広告禁止の原則を唱えています。彼は、潰れかかった自分の会社が製造したアルミ食器を販売するときに、幾つかに類別して、次のような広告を出しました。「お客様が食器をお求めになる時はそれぞれの目的がごございます。食器というものは、いつも使うものだから未来永劫に使えるものだというお考えの方がいらっしゃいます。この第一部類の商品はそういった方の為に作りました。工賃も十分に掛けてしっかりした良い物でございまして、末代までもてる品でございまして、ただ値段が少々高くなります。末代まで使用されたい方はこちらをお求めください。また、食器は、インテリアやデコレーションの要素も持っております。流行は10年位で変わるので10年位持たればよいというお客さんもございましょう。この商品は、デザインもスマートで部屋の飾りとしてもなかなか良いものだと思いますが10年しかもたない材料で造っております。それでも12~13年は持ちましょう。でも、まあ10年たったらお買い換えをお願いします。お客様が好きなようにお選び下さい」と。これによって、すっかり彼の会社の信用が出来上がったということです。お客様は、物を買ったりする時は、常に正しい情報を求めています。そこへ正しい情報を提供することが大事であり、真実を語り、嘘をついてはいけないということでしょう。儲かるため



には、まず信用を得ることが第一ではないでしょうか。“儲け”という字は“信”と“者”がくっ付いています。

真実かどうか (2)

前回に続いて、“真実かどうか 常に正直と親切を旨としているか”について「奉仕こそ我がつとめ」という本の中から一つの話を参考までに引用します。あるデパートの社長が倉庫の中を見回してみると雨合羽が沢山売れ残り山のように積まれていました。中には、湿気のため黴が生えて使い物にならない物もありましたが、まだ十分使える物もありました。社長は役員会でこのことを話し、宣伝部長を同席させ、新しい商品を仕入れたいので売れ残りの雨合羽を早く処分し倉庫を空にしたいと述べ、売り捌きの為の広告を出すよう指示しました。部長は部に帰り役員会での話しをそのまま伝えたところ、担当者は売り出しの前日に、次のような広告を出しました。「当社の倉庫には売れ残りのレインコートが山積みになっています。中には、とても使い物にならない様な物もあります。多少傷のあるものもあります。中には新品同様のものもごございます。とにかく、当社はこれを出来るだけ早く処分して空にし、新しい商品をそこに入れたいと希望しています。その為に、○月○日○時から、このレインコートの特売をします。低廉に致しておりますのでどうかお買い求め下さい。売り切れたときはお許し下さい」と。2～3日後、出張から戻ってこの広告をみた社長は激怒しました。早速、宣伝部長を呼びつけ「こういう下らん広告をやる馬鹿が我が社にいたのか。何というごまだ。こんな奴は即刻首だ」と広告を手にして怒鳴りつけました。部長は、「ああ、それでしたか。それでしたら社長、倉庫に行ってください。その品物はもう全部売りつくされてしまいました。あの広告のお陰です。お客様は、当社が正直であることを評価して下さいました結果だと思えます」。似たような話をもう一つ、大村北RC発行の「ロータリーの心を尋ねて」の中からご参考までに引用します。備前の池田光正候の家来に山川重郎佐衛門という小録で貧乏な侍がいました。ある年の暮れ、光正候へ伺候したとき、候から「大変寒さが厳しいが子供たちには、ちゃんと着るものを着せているか」とお尋ねがありました。重郎佐衛門は、「ハイ、いささか手元不如意でございませれば十分着せてやることも出来ず、難儀いたしております」と答えました。すると候は、小判20両を紙包みにして、上に「20両」と書いてこれを重郎佐衛門に与えました。彼は、押し頂いて家に帰り数えてみると21両あったので、翌日、出仕した時に、その一両を持って行ってお返ししようと思いました。候は、その正直な事を褒めて「それはそなたの幸せというもの、納めておくがよい」と。それから、数カ月後、候より彼にお納戸役が命ぜられました。信用のおける男と見込んでの処遇でした。

みんなに公平か

今回は、四つのテストのうち、みんなに公平かについて述べます。これは主に、協業者や、下請け関係の健全育成ということに繋がります。公平で友情に満ちた関係を保っているかどうかということになります。元請けの力が強いと下請けに対しダンピングを強要したり、バックリベートを要求したりということが起こってまいります。然し、下請けからあまり搾取すると、実は自分の企業の商品供給力が弱体化されているということを忘れがちです。従って、共存共栄で下請けが十分成り立って行くような所得というものを必ず保障してやる必要があります。下請けが競争力を持ち得てこそ元請けが潤沢に生産を拡大していけるのではないのでしょうか。さて、ハーバート・テラーが「四つのテスト」に従って会社再建に乗り出した時、事務用品の印刷を入札にかけたところ、とびきりの安い値で入札した印刷会社があり、文句なしにその会社が落札することになりました。印刷会社の社長は、会社に戻って再検討してみると試算の基準を間違って150ドルも安く請負ってきたことが判明しました。「しまった。これでは儲けがないばかりか、みすみす150ドルの損で場合によっては会社が潰れるかも知れない。自分の落ち度で相手には責任はない。相手も潰れかかった会社でどうにもならないだろうが、一応、話だけはしてみよう」と思いハーバート・テラーのところへ持ち込んできました。一部始終を聞いたテラーは「よく判りました。しかし、会社は役員会の決議で動いているので今すぐ返事することはできません。次の役員会に諮ってみましょう」と答えました。さて、役員会ではいろんな意見が出ました。「人の面倒ばかりみてはおれないよ。うちが潰れかかっているんですよ。向こうが間違っているのだから、うちには責任がない。契約は契約だ、契約通りにやってもらうべきだ」「向こうが誤算した見積もりを出して、値段を上げてくれと言うのは筋違いではないか」など強硬な意見が出ました。ところがある役員は、「社長が着任した時、会社の経営を四つのテストに従ってやろうと約束したばかりではないか。四つのテストに照らせば、公平の原則に反することになりはしないか。人を泣かせてうちの会社だけの得を計ったんでは、そのような儲けは決して長続きすることはないだろう。」と発言しました。その結果、うちもきついが、せめて損だけはさせないよう150ドルの増額をしてあげようと役員会で決議をしました。この情報が



業界全体に広がり、「あそこは下請けをむやみやたらにいびる会社ではない。この会社のためならば、一生懸命やろうじゃないか」ということになり大いに盛り上げてくれ、テーラーの会社は立派に再建されました。

四つのテストに関する例話

高級スリッパの製造卸の社長である浅草RC会員は、物の買い占めが起こり、同時に価格の吊上げが起こった時、会社に注文が殺到しました。会社にはかなりの在庫が残っていたので、専務や担当部長は同業者の価格吊上げに倣って3倍位に値上げして卸し、このような時にこそ、会社の力を蓄えておくべきだと社長に進言しました。社長は「うちは、安い時に材料を仕入れ、既に安い工賃も支払っており、うちの利潤もちゃんと見ているので、それ以上に上乘せした価格で売るということは、商品売買を媒体として人の物を奪うということになり、商人たるものの、為すべきことではない。古い値段で結構だ」と言って、古い値段で売りました。暫くして、業界への注文が完全にストップしたが、この会社だけには潤沢に注文が入ってきました。社長はどうして自分のところだけ注文が来るのか尋ねてみたところ、猫も杓子も値上げした時、旧来どおりの値段を維持してくれたのはお宅だけでした。我々はあなたに助けられたので、先ず、あなたの所へ注文することにしとるんです。と説明してくれました。これは、適正な価格で物を売り、買い手と心の交流をなし、好意と友情が更に深まったことにより会社が発展したということでしょう。もう一つ「奉仕こそ我がつとめ」という本の中から例話を引用します。ある農夫がトウモロコシの畑を作り優秀な出来栄の作物を毎年その地方の品評会に出品して、青リボンの一等賞を貰っていました。この農夫は、入賞した最上等のトウモロコシの種子を隣の農夫達に分け与えました。これを見て近所の人は驚き農夫に尋ねました。「どうしてそんな馬鹿なことをするんですか。隣の人は、あなたと競争する為にこの品評会に出ている人ですよ。大切な上等の種子を他人にくれてやるなんて解らんですなあ？」と。これに対して、青いリボン賞の農夫は、「いや、別に訳はありませんよ。もし私が、よいトウモロコシを作ろうと思えば、近所の農家の人達にも良い物を作ってもらい必要があるんです。なにしろ風が吹くと熟したトウモロコシから花粉が舞いあがって、畑から畑へ飛び散らすのです。隣の作物が悪いとこちらの作物も悪いのが出来ますからね」と答えたそうです。これは、同業者、競業者間においても相互理解と公平な協業関係を維持し、好意と友情を深める事がみんなの為になるということではないでしょうか。

四つのテストに対する考え

言行はこれに照らして (1) 真実かどうか (2) みんなに公平か (3) 好意と友情を深めるか (4) みんなのためになるかどうかご存じのように、これが四つのテストです。四つのテストは、(1)と(2)～(4)の2つに分析することが出来ると言われてしています。(1)は言動そのもの内容に関するものであり、(2)～(4)は言動が述べられるべき状況に関する準則を示していると言われてしています。つまり、ロータリーアンの言動はどんな場合でも(1)の真実でなければならない。そして、実行・言動に関しては、(2)～(4)の準則に照らした上でなされなければならないと言うことでしょう。職業奉仕に関しては、その後、RIは、1987～1988年度に職業奉仕に関する声明を出しました。その前文に、職業奉仕とは、「あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことを、ロータリーが育成、支援する方法である。」と書いてあります。いずれも優れた職業奉仕の理念が掲げられており、これを実行したハーバート・テーラーや先達ロータリーアンが為してきた奉仕の実現は誠に立派だったと思います。ただ、四つのテストにしる、いろんな職業宣言にしる、何が何でも常に厳格に適用しなければならないと言うことではなく、場合によっては適用しないことがよいケースもあると思います。例えば、不治の病と言われていたガン患者から、「私はガンではないのですか」と尋ねられた時、医師はどう答えたらよいのか。また、醜女から質問された美容師は「あなたは醜女です」とは誰も答えません。このような場合は、四つのテストに反してウソを言うべきだと思います。わが国には昔から「ウソも方便」という言葉があります。このように考えると「四つのテスト」よりも日本古来の常識の方が誠に適切です。但し、我々は、「ウソも方便」と言って、ウソをついた良心の呵責を免れようとする傾向があります。ウソはどこまでもウソであり、「ウソも方便」という場合のウソはその相手に対する温情と慈悲がその底にあるものでなければならない事を忘れてはならないと思います。四つのテストの(2)～(4)の準則に照らしながら、その時の状況に応じて、社会通念に従って判断し言動することが必要ではないでしょうか。



「24-25財団補助金管理セミナー&研究会」報告

補助金小委員会 委員長 赤坂 圭一 (足利東RC)

2024年2月23日、ベルヴィ宇都宮にて「24-25財団補助金管理セミナー&研究会」が開催されました。

はじめに第2820地区パストガバナー新井和雄様（下館RC）より「ロータリー財団補助金を活用した災害支援活動」についてのご講演をいただきました。東日本大震災、ネパール地震、ウクライナ侵攻、能登半島地震において、ロータリー財団の支援が有意義に力を発揮したこと、皆様から頂いた財団への支援が、それを必要としている人々に具体的な形となって大きな恩恵をもたらしていることなどをご説明いただきました。

引き続き、地区財団委員会より次年度の補助金申請についての説明が行われました。本セミナーはクラブ関係者（会長・幹事等）の出席義務があります。その他、守らなければならないことがありますのでご注意ください。特に書類等の提出期限は厳守です。期日を過ぎたものは受理することができません。詳しくは毎年度各クラブへ配布される最新の「補助金ハンドブックおよび資料編」をご参照ください（年度により内容改定の場合があります）。

ロータリー財団の使命は「ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。」

ガバナーの目標は、会員1人あたり年次基金150ドルです（さらにポリオプラス30ドル）。ご寄付いただいた金額の半分は世界のロータリアンとシェアされ（ワールドファンド）、残りの半分は3年後、地区に戻ってきます。それらが地区補助金、地区財団活動資金（DDF）となります。

また、ワールドファンドは、世界中のロータリアン・ロータリークラブが7つの重点分野への支援として、また人道支援として使われます。志はあっても現実的には現地に赴き活動することができない私たちに代わって、財団への寄付（支援）が威力を発揮します。目指すものは貧困からの脱却、世界理解、親善、平和の構築。ぜひそのお金の使い方をご理解ください。

地区財団委員会は、補助金・ポリオプラス・資金推進並びに恒久基金/大口寄付推進・資金管理・ロータリー平和フェロシップ・学友の各小委員会をもって構成されています。それぞれがロータリー財団の使命、ロータリーの理想の実現のために非常に重要な役割を担って活動しております。ぜひ皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。





第4グループI・Mの報告

2023～24年度 第4グループ ガバナー補佐 **藤原 郁三** (益子RC)

2024年2月25日(日)、第4グループI・Mを、真岡RC29名、真岡西RC15名、下野・上三川RC16名、益子RC25名の総勢85名の出席で、会場アプローズ益子に於いて開催いたしました。講演には、元RI会長の田中作次氏をお招きした為、ご来賓には、三井福次郎ガバナー、市田 登ガバナーエレクト、二十二修ガバナーノミニ一、鈴木 宏パストガバナー、石田順一パストガバナーの方々にもご参加頂きまして、I・Mを盛り上げて頂きました。

- ①午後1時15分から2時まで、入会5年未満の新入会員のオリエンテーション。講師は鈴木宏パストガバナーで、スライドを使って分かりやすい解説をしていただきました。予想以上の会員が集まり、ロータリーは学び、成長する場であることを改めて知る良い機会となりました。
- ②午後2時30分から4時までの本会議では、藤原ガバナー補佐の挨拶とスライドを使って4クラブからの活動報告。そして、次年度真岡西RCガバナー補佐の柳澤最伸氏の紹介をしました。
- ③午後4時から5時まで、田中作次氏の講演「世界のロータリー」田中作次氏紹介の時に、経済評論家の宮下正房氏が執筆した「田中作次チャレンジ人生」の本から要約した内容を、ガバナー補佐から少し話させて頂きました。その事は、今回のI・Mプログラムにもあえて掲載いたしました。そして、田中氏がRI会長として世界のロータリアンと活動したことを「世界のロータリー」というテーマで講演をして頂き、最後に質疑応答の時間を設けました。
田中氏のRI会長当時のテーマが「奉仕を通して平和を」でした。今、平和が脅かされている世の中だからこそ余計響くものがあり、奉仕がなぜ平和に繋がるのかは、興味深い内容でした。現在、84歳ですがとてもお元気で、健康の秘訣についても披露して頂きました。ゴルフもされて、健康の為にはゴルフは下手なほうが良い(沢山歩くから)など、楽しいお話でした。お礼の挨拶は、真岡RC石田順一パストガバナーより頂戴いたしました。
- ④午後5時から懇親会。最初にアトラクションとしてj-popの「i-nos」キーボード堀田陽一氏と益子出身のボーカ



ル藤原綾子さんのユニット、茂木出身のフルート奏者栗田智水さんとのコラボライブ。どちらも栃木県の未来大使です。

三井ガバナーよりご挨拶を頂戴し、益子RC次年度会長の佐藤広志さんの乾杯で、楽しい時間が始まりました。有り難いことに田中氏にも、最後までお付き合いをして頂きました。今回も、埼玉から田中氏の送迎をしてくださった、朝霞RCの大畑会員には大変お世話になり感謝申し上げます。そして、会員の皆様のお陰で、有意義な楽しいI・Mを開催できましたこと、心より感謝申し上げます。
～Enjoy Rotary!～





第1グループIM報告書

第1グループ ガバナー補佐 **君島 孝明** (大田原中央RC)



国際ロータリークラブ第2550地区第1グループのインターシティミーティングは、異なるクラブが一堂に会し、それぞれの活動や成果を共有する重要な機会となりました。このイベントは、地域社会への貢献を目指すロータリークラブの使命を再確認し、会員間での情報交換を通じて相互理解を深め、新たな友情を育む場として機能しました。

イベントを通じて、参加各クラブは自身の取り組みを紹介し、社会貢献活動の範囲と影響力を広げるための新しいアイデアや戦略を共有しました。また、ロータリークラブ間の連携強化の必要性が強調され、共通の目標達成に向けた

協力の重要性が浮き彫りになりました。このような協力体制は、地域社会におけるロータリークラブの役割を強化し、より大きな社会的影響を生み出す基盤となります。

このイベントはまた、ロータリークラブが直面する現代的課題に対処するための戦略を練り、会員増強や社会奉仕活動の質を高める機会を提供しました。参加者は、地域社会への貢献に対する献身的な努力を共有し、ロータリーの理念に基づく活動を通じてより良い世界の実現に向けて協力することの重要性を再認識しました。

今後、このインターシティミーティングで築かれた関係と共有されたアイデアは、各クラブが地域社会への貢献を





拡大し、ロータリークラブの活動をより効果的に展開していくための貴重な資源となります。このイベントが示した協力と友情の精神は、今後のプロジェクトやイニシアティブの成功に不可欠な要素であり、地域社会に対するロータリークラブの影響力をさらに高めることに寄与するでしょう。

最後に、第2550地区第1グループのインターシティミーティングは、ロータリークラブが共通の目標に向かって努力し、地域社会への貢献を目指すうえでの団結と協力の重要性を示したイベントでした。このイベントは、ロータリー

クラブの活動とその社会への影響を拡大するための新たな道を開き、未来に向けた持続可能な変化を生み出すための一歩となりました。各クラブはこのイベントから得た学びを活かし、地域社会に対するより大きな貢献を目指して前進することを期待しております。





RID3470地区(台湾)インターアクトクラブ歓迎事業報告

地区インターアクト前年度委員長 **藤島 拓** (宇都宮南RC)



本年の2月28日に、RID3470地区インターアクトクラブの歓迎事業として「授業等体験交流」及び「歓迎合同パーティー」を開催致しました。

「授業等体験交流事業」は、ホスト校である文星芸術大学附属高校において午前9時から13時頃まで「茶道」等の日本文化を両地区の参加者が一緒に体験し、交流を深めました。

RID3470地区からは、ロータリアンが「林宇星ガバナーと奥様」「黄元硯地区副幹事長と奥様」等6名、インターアクターは27名、合計33名ご参加をいただきました。

当地区の参加者は、宇都宮女子高校8名、宇都宮短期大学附属高校3名、宇都宮文星女子高校3名、作新学院高校5名、宇都宮商業高校2名、宇都宮南高校9名、ホスト高校の文星芸術大学附属高校18名のインターアクター48名、顧問教諭7名、ロータリアンが二十二青少年奉仕委員長、磯貝インターアクト委員長ほか3名、D3470地区からの1年交換留学生（ホスト：足利わたらせRC、スポンサー：雲林RC）の「サンディー」さんの合計61名が参加致しました。

D3470地区インターアクタ27名と当地区インターアクター48名が15のグループに分かれて、日本文化の「茶道」「書道」等を一緒に体験し、相互理解を深める事が出来ました。

また、最後に文星芸術大学附属高校和太鼓部による和太鼓





演奏を聴き、異文化交流の素晴らしさ・大切さを深く感じることが出来ました。

このような素晴らしい交流体験ができたのは、学校法人宇都宮学園の上野一典学園長（宇都宮北RC所属）や上野敬子理事長をはじめとする多くの先生・生徒が、苦勞しながら準備して頂き、歓迎して頂いたからです。心から感謝申し上げます。

午後の「歓迎合同パーティー」参加者は、当地区が、三井ガバナー他26名のロータリアン、ローテックス2名、インターアクター等41名の計70名、D3470地区が33名、総勢103名でした。開催場所はコンセーレで18時に開会し、両国

国歌を斉唱し、三井ガバナーから歓迎の挨拶、D3470地区林宇星ガバナーからご挨拶、羽石パストガバナーの乾杯へと進み、「林宇星ガバナー」と「三井福次郎ガバナー」が両地区交流記念として、記念品・バナーの交換を行いました。

続いて、インターアクターの交流目的のアトラクションとして、両地区インターアクターに学校紹介・自己紹介を兼ねて、歌やダンスや日本のクイズや射的やけん玉等を披露してもらいました。その後、インターアクトクラブのバナー交換を行い、全員で集合写真を撮影し、大盛況の中、20時30分頃、無事に閉会することが出来ました。関係者の皆様方に、心から感謝を申し上げます。

今年度の海外研修は、3月26日～29日の3泊4日で、国際理解・交流を目的として、台湾研修を実施する予定です。今後も、地区インターアクト委員会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。





2024-2025年度 RI第2550地区 会長エレクト研修セミナー (PETS) ・ 幹事エレクト研修セミナー (SETS) 開催報告

PETS/SETS実行委員長 **櫻井 武彦** (鹿沼RC)



2024年3月17日(日) コンセーレにおいて、地区内48クラブ・ローターアクト5クラブの会長エレクト・幹事エレクトを対象に地区内外からの来賓の方々をお招きし総勢150名の参加のもと開催いたしました。開会にあたり、三井福次郎ガバナーより、PETS・SETSの目的についてご挨拶をいただき、緊張感が加わった開会となりました。

市田 登ガバナーエレクトによる RI会長のテーマと方針・ガバナー方針について

2024-25年度 ステファニーA.アーチックRI会長テーマ『ロータリーのマジック』を發表されました。また、市田年度の地区のスローガンは、『～ロータリーを楽しもう～』です。ロータリーを楽しむためにクラブ運営方針と重点項目をかかげ、「ロータリーを楽しみ仲間を増やしましょう。」と語られました。

国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 縄田 怜氏による『クラブ会長になる準備』・『クラブ幹事になる準備』のプレゼンも行われ丁寧に、解りやすくご説明いただきました。

講演では、RI2840地区パストガバナー 田中久夫氏による『会員増強について』会長年度にクラブの会員51人増強・ガバナー年度に地区の会員数を50人増強した等、どのようにしたら会員増強につながるのか、クラブの雰囲気作りなど ユーモアを交えた講演になりました。

午後からの PETS・SETSでは、会場を分けPETSでは、『会長



の役割と責務』を 田中久夫パストガバナー、『クラブ運営と会長の役割』を太城敏之ラーニングファシリテーターが担当し研修が行われ、SETSでは、市井 元DX推進委員長による、『DX、My Rotaryクラブセントラルについて』・『DX、My Rotaryの活用について』クラブ情報入力方法や次年度から始まるクラブ3ヶ年計画の入力方法等、細かく・解りやすく説明していただき研修が終わり次年度 会長・幹事になるための準備ができたかと思います。

その後、全体会に戻り 次年度地区資金予算の承認・公式訪問についての説明・各委員長による委員会方針の発表が行われ、太城敏之ラーニングファシリテーターによる講評もいただき、無事に開催できたことに地区役員の皆様・クラブメンバーに感謝申し上げます。

市田 登ガバナー年度をどうぞよろしく願いいたします。





タイ王国 シリキット王妃国立小児病院に口腔内視鏡カメラ一式の贈呈

会長 石塚 龍夫 (真岡RC)

この事業に関しましては、D3350（スアンチットラダーRC他8RC）、D2550（真岡RC）、台湾斗六RC、の合計2地区+11クラブのプロジェクトとなりました。斗六RCは真岡RCの姉妹クラブであり、昨年姉妹クラブ締結40周年を迎え、その記念事業として取り組みました。残念ながら斗六RCのD3470のGG事業費は活用できませんでしたので、斗六RC単独参加となりましたが、1/15日の贈呈式には真岡RC9名、斗六RC6名が参加出来ました。当クラブとしては、概ね当初企画どおり事業が出来たと満足しております。

このGG事業により、タイ王国の闘病している子供たちに希望を生み出すことが出来るものと思います。ご支援、ご指導を賜り誠に有難うございました。



グローバル補助金取組の足跡

2022/5/8	地区研修協議会 国際奉仕分科会	善林委員長に取組意思表示
2022/10/27	外部卓話 グローバル補助金について	善林地区国際奉仕委員長
2023/2/17-20	斗六訪問 真岡木綿製RC旗贈呈 (GG事業の共同参画提案)	石塚、齊藤、岡本、見目、頼近、小金
2023/5/9-12	真岡市斗六市友好都市調印式市長随行 姉妹クラブ締結40周年式典(記念事業承認)	市村、見目、岡本、齊藤、柳田、横松、頼近
2023/5/24-27	宇都宮 G G 贈呈式に同行	石塚エレクト、金子国際奉仕委員長
2023/6/1	G G 申請承認 (\$ 1000 拠出)	市村年度理事会
2023/6/28	R C 財団 G G 申請書受理	市村会長年度事業
2023/8/30	R C 財団 G G 承認	プロジェクト NO.GG2348102
2023/10/7-10	飯田パストガバナー打合せ	横松幹事、金子国際奉仕委員長
11/23-26	斗六公式訪問 (GG贈呈式打合せ)	公式訪問団：33名参加
2023/12/1-4	パトムワンRC40周年	石田パストガバナー、石塚会長
2024/1/13-16	G G 贈呈式	石田 P D G、石塚会長、横松幹事、中川エレクト
		齊藤奉仕プロジェクト委員長、金子国際奉仕委員長
		岡本周年事業委員長、柳田会員組織委員長
		平石財団委員長、斗六 R C 6名
2024/3/18	G G 2348102 最終報告提出	



参加者

提唱者の参加

実施国側提唱者のメンバーはどのような役割と責務を担いましたか。

- 1) To find the relevant fund needed projects for consideration of our Club Foundation Grant Committee
- 2) To conduct surveys and interviews to establish on the ground that the need is really required for the benefit of the community and execute the evaluation of equipment , short list and select the best priced supplier in a tender of suppliers approved and agreed by the incumbent hospital staff.
- 3) To contact the potential International sponsors and get DDF or cash fundings from them and from RI.
- 4) To execute the hand over of equipment purchased in a ceremony with image publicity and continue to monitor the usage and maintenance of equipment .

援助国側提唱者のメンバーはどのような役割と責務を担いましたか。

- 1) To provide the DDF or cash for the global grant.
- 2) To witness and monitor the execution of the equipment hand over to the hospital.
- 3) To visit the hospital to authenticate the award of PO to supplier and the usage at site by the relevant doctors in charge.

協力クラブ・地区（任意）

実施国・援助国の提唱者および寄付者以外に、このプロジェクトに関与したロータリークラブまたは地区がある場合は、ここに追加してください。

番号	種類	クラブ名または地区番号
1.	地区	3350
2.	クラブ	Bangkok
3.	クラブ	Bangkok South
4.	クラブ	Bang Rak
5.	クラブ	Bangkok Chinatown
6.	クラブ	Phaya Thai
7.	クラブ	Rat Burana
8.	クラブ	Srapathum
9.	クラブ	Touliu



プロジェクトの支出

補助金額：
41,364 USD

支出記録

日付	内容	カテゴリー	金額 (THB)
11/01/2024	Full HD Camera control unit & Medical Video Recorder	機材	130000
11/01/2024	HOPKINS Telescope 30 degree ,4mm, 18 cm	機材	14900

費用の概要

カテゴリー	予算 (THB)	支出額 (THB)	差額 (THB)
機材	130000.00	144900.00	(14900.00)
運営	65000.00	0	65000.00
合計：	1365000.00	1449000.00	-84000.00

このプロジェクトで予想外の差額や大きな差額が生じましたか。

はい

差額が生じた事情を簡単にご説明ください。

Our Receiving Exchange Rate on January 2024 was at 34 Baht per USD during TT from RI . However , during budget time , the exchange rate was 33 baht per USD . So we had an exchange rate gain of 84,000 baht . This amount plus Operations allocation of 65,000 baht (which was not spent) adds up to 149, 000 baht which we used to buy the additionally the needed Hopkins Telescope 30 degree ,4mm, for more accurate surgeries.

未使用の資金を財団に返還しますか。

いいえ



承認

承認

代表連絡担当者

私は、本報告書を承認することで、私の知識がおよぶ限り、本補助金の資金がロータリー財団（以下「財団」）の指針に従って使用され、本報告書に記されたすべての情報が真正かつ正確であることを確認します。すべての領収書の原本は、会計監査に必要となる場合に備え、少なくとも5年間、または適用される法律によってはそれ以上の間、保管します。

財団から要請された場合、および本人（または親か法的保護者）からの書面による承諾が財団に提供された場合を除き、補助金報告書およびその補足文書に、本報告書への掲載を許可していない人の個人データ（氏名、連絡先、年齢/生年月日、健康/医療上のデータ、または個人を特定できるその他の情報）または写真を含めるべきではありません。そのような個人データが不適切に含まれている場合、ロータリーのプライバシーの方針を財団が順守するために補助金の手続きに遅れが生じる可能性があります。

私は、本報告書で提出されたすべての写真、ビデオおよびその他のメディアは、国際ロータリーの所有物となり、返却されないことを理解します。私は、著作権を含めこれらの写真、ビデオおよびその他のメディアのすべての権利を所有すること、かつこれらの写真、ビデオおよびその他のメディアに写っているすべての人（未成年あるいは法的責任能力がない人の場合はその親）が、その人の画像や肖像を国際ロータリーが使用することを許諾する無制約の許可を書面で私に提供したことを示し、認めます。私は、写真、ビデオ、その他のメディアのすべてまたはいずれかを、現在または将来に、現在知られている形式、媒体、またはテクノロジーまたは後に開発されるそれらを通じて、国際ロータリーの出版物や資料、推進目的で、使用料無料で世界的に使用、出版、印刷、複製、編集、放送、ウェブ放送、展示、配布、二次的派生物の作成、サブライセンス、一般に公開する取消不能かつ無期限の許可と権利を、RIとロータリー財団（集散的に「ロータリー」）に与えます。私は、補助金と奨学金を含むロータリーのプログラムの推進を目的に写真、ビデオ、その他のメディアのすべてまたはいずれかの使用を許可する普遍的権利を、一切の責任を負うことなくロータリーが有することを示し、認め、同意します。

提唱者

私は、本報告書を承認することで、私の知識がおよぶ限り、本補助金の資金がロータリー財団（以下「財団」）の指針に従って使用され、本報告書に記されたすべての情報が真正かつ正確であることを確認します。すべての領収書の原本は、会計監査に必要となる場合に備え、少なくとも5年間、または適用される法律によってはそれ以上の間、保管します。

財団から要請された場合、および本人（または親か法的保護者）からの書面による承諾が財団に提供された場合を除き、補助金報告書およびその補足文書に、本報告書への掲載を許可していない人の個人データ（氏名、連絡先、年齢/生年月日、健康/医療上のデータ、または個人を特定できるその他の情報）または写真を含めるべきではありません。そのような個人データが不適切に含まれている場合、ロータリーのプライバシーの方針を財団が順守するために補助金の手続きに遅れが生じる可能性があります。

私は、本報告書で提出されたすべての写真、ビデオおよびその他のメディアは、国際ロータリーの所有物となり、返却されないことを理解します。私は、著作権を含めこれらの写真、ビデオおよびその他のメディアのすべての権利を所有すること、かつこれらの写真、ビデオおよびその他のメディアに写っているすべての人（未成年あるいは法的責任能力がない人の場合はその親）が、その人の画像や肖像を国際ロータリーが使用することを許諾する無制約の許可を書面で私に提供したことを示し、認めます。私は、写真、ビデオ、その他のメディアのすべてまたはいずれかを、現在または将来に、現在知られている形式、媒体、またはテクノロジーまたは後に開発されるそれらを通じて、国際ロータリーの出版物や資料、推進目的で、使用料無料で世界的に使用、出版、印刷、複製、編集、放送、ウェブ放送、展示、配布、二次的派生物の作成、サブライセンス、一般に公開する取消不能かつ無期限の許可と権利を、RIとロータリー財団（集散的に「ロータリー」）に与えます。私は、補助金と奨学金を含むロータリーのプログラムの推進を目的に写真、ビデオ、その他のメディアのすべてまたはいずれかの使用を許可する普遍的権利を、一切の責任を負うことなくロータリーが有することを示し、認め、同意します。

承認のサマリー



代表連絡担当者の承認

氏名	クラブ	地区	状況	
Winston Doong	Suan Chit Lada	3350	承認済み	承認日：14/03/2024
Tadao Ichimura	Moka	2550	承認済み	承認日：18/03/2024

提唱者の承認

氏名	クラブ	地区	状況	
Tatsuo Ishitsuka	Moka	2550	承認済み	承認日：17/03/2024
Thanapat Thanakijarak	Suan Chit Lada	3350	承認済み	承認日：15/03/2024



本年1月に発生しました能登半島地震の被害状況が、R I 第2610地区ガバナー原 勉様より送られてきました。各14クラブやインターアクト5クラブの被害状況、並びにクラブの運営状況など、写真等を交えて報告いただいております。三井ガバナーの許可をいただき、そのまま掲載させていただきました。(月信チーム)

国際ロータリー第2610地区 ガバナー 原 勉 (白山RC)

20240131現在 RID2610 14クラブ被害確認・クラブ運営状況

No.	クラブ名	被災状況	事務局・使用可能な通信網	例会場	例会場被災状況	例会の開催状況
1	羽昨 石川	会員の多数が一時避難したものの、現在は全員帰宅。会員の中には一部家屋の倒壊があるものもいるが生活可能な状況。断水がまだ続いている会員もあり。	TEL, FAX, PC (E-MAIL)	使用できる	掲示してはる国旗やクラブ旗、賞状や写真が落下し破損したが、修復可能	例会場を修復し、1月25日(木)に今年初の例会を開催予定です
2	中能登まほろば 石川	命に別状は、ありません。	TEL, PC (E-MAIL)	使用できる		1/17(水)12:30初例会。
3	中島 石川	事務局は被災していてPC迄たどり着けない。				1月、2月は例会なし
4	七尾 石川	事務所OK、その他被害は多数半壊・全壊の家屋・社屋多数。会員は無事です。	TEL, PC (E-MAIL)	被災してる	建物の周辺の液状化現象にて陥没箇所多数。断水の影響で貸室は3月中は中止となっています。	2月16日(金)に第一例会開催場所の「番伊」にて安否確認例会を開催予定です。その後の例会は未定です

20240131現在 RID2610 14クラブ被害確認・クラブ運営状況

No.	クラブ名	被災状況	事務局・使用可能な通信網	例会場	例会場被災状況	例会の開催状況
5	七尾みなど 石川	会員は全員無事				しばらく例会は控えよう。3月くらいまで休会。
6	志賀 石川	同じ町内でも地域によって、個々によって被害状況は様々ですが、会員宅では母屋がだめで別棟で暮らすとか、しばらくは会社で寝泊まりという方はおられますが、倒壊、半壊で避難所という方はおられません。道路の隆起もあり、現在は断水状態です。	TEL, FAX, PC (E-MAIL)	使用できない被災してる	ホテルが被災し利用できなくなっております。休館中です。	しばらくは休会です。再開未定です。まずは少し落ち着くまでと思いましたが。現在断水中で、別の場所で開催することは可能ですが、人が集まると昼食問題よりトイレの問題が発生しますので、様子を見ている段階です。
7	富来 石川	全会員の住宅、蔵、納屋、事務所に被害あり。全会員の屋根瓦損傷あり。雨漏りがあるのでブルーシートで仮補修。住宅内については、どの会員もタンスがひっくり返り、台所に至ってはテレビ等で見えるように食器棚がひっくり返り食器等割れ悲惨な状況。	TEL, FAX, PC (E-MAIL)	使用できない被災してる	当クラブは湖月館が例会場になっておりますが、かなり酷く損傷している状況です。外壁は落ち、中の状況も手が付けられないようになっていたとの事です。	今のところ未定です。例会場が損傷しているため開催となると別の例会場を探さなければならぬ為。



20240131現在 RID2610 14クラブ被害確認・クラブ運営状況

No.	クラブ名	被災状況	事務局・使用可能な通信網	例会場	例会場被災状況	例会の開催状況
8	石川 穴水	自宅半壊会員有り、事業所使用不可会員有り 地域における、自宅及び事業所は全壊・半壊多数。 ライフラインも壊滅状態で復旧には時間を要する。 会員も同等の被害を受けており、住居・事業の復旧には長期を要する。 会員・家族も1.5次避難先、2次避難先への移動も見られる。 クラブ事務・例会場も甚大な被害を受けており、事務所機能の目途も未定。 例会場も被害を受けており、当分の間は休会とする。 開催目途は未定。	PC (E-MAIL)	使用できない 被災してる	危険につき立ち入り不可	当分の間休会 開催未定 1月・2月は例会はしない
9	石川 能都	・被災状況→高田清康会員の醤油蔵が倒壊しました。 その他会員の建物に赤紙を貼られた所も（数把握していません）	PC (E-MAIL) その他 幹事：木地司 09043252928	使用できる		今のところ例会の再開は、メドが立っておりません。
10	石川 珠洲	珠洲全域がほぼ壊滅状態です。珠洲市の断水が解除されるには5～6年掛かる。 電気、ネット、ガス等がまだ整っていない会員事業所がある。 会員の大半は自宅や事業所も全壊、大規模半壊、津波被害を被っており、復旧には相当な時間がかかる。	TEL, PC (E-MAIL)	使用できない 被災してる	例会会場で使用していた場所は津波の被害を受けた。 漏電の危険があるため、電気等は使用不可。	例会を開催できるような状況ではない。当面の間、1年以上休会が続く。

20240131現在 RID2610 14クラブ被害確認・クラブ運営状況

No.	クラブ名	被災状況	事務局・使用可能な通信網	例会場	例会場被災状況	例会の開催状況
11	石川 内浦	自宅や事業所の倒壊、半壊、一部損壊、津波浸水等 ほとんどの会員が被災されているようですが、具体的な被災状況は確認できていません	PC (E-MAIL)	使用できない 被災してる	建物が傾いています	1月はすべて休会となりますが2月以降は決まっていません
12	石川 輪島	震度7による住宅被害多数。 10名程の会員が輪島市外への二次避難中	PC (E-MAIL)	被災してる	建物自体に入れない状況です。	例会を行える状況ではありません。
13	富山 氷見	事業所の被害あり 2 2 件 漏水、天井落下、石灯笼倒壊、基礎割れ、傾き、外壁落下、液状化により地盤沈下、床割れ、ガラス多数割れ、給排水管破損 ご自宅の被害あり 1 8 件 自宅周りの液状化、瓦落下、塀、壁、液状化により地盤沈下、エコキュート給湯器破損、基礎割れ、灯油タンク倒壊、地面地割れ、危険家屋に	TEL, FAX, PC (E-MAIL)	被災してる	例会場の天井落下 (26日まで使用禁止となっております)	・1月は例会なし ・2月から開催 2月1日(木)より例会再開予定
14	富山 氷見中央		TEL, FAX, PC (E-MAIL)	使用できる		・2月から開催

2月16日 石川第四グループ訪問 各クラブの現況

穴水	23日(金) 会長宅で8人集まり3月後半から様子を見て、始めようと 例会場見つかからない。会長宅を予定
能都	三宅会長、次期会長と会う 15日に初めての役員会 見舞金10万配った、そろそろ活動する。
珠洲	会長、幹事と連絡つかない、事務局(商工会議所)と話しました、避難生活多い、連絡つかない会員多い 例会まだ
内浦	草山会長と話す 例会まだ
輪島	山上会長、事務局方 在 例会まだ、1回理事会



石川第4グループ舞谷ガバナー補佐からのメール 2024年2月26日

令和6年元旦4時10分マグニチュード7.6 震度7が能登を襲いました。揺れ方激しすぎる、時間 長過ぎる、17年前も体験しました、その何倍、何十倍の被災だと思いました。

2610 地区 原ガバナーさん地区役員さんの気持ちから第四グループの会員一人に10万円、穴水クラブで14万円の見舞金 大金をありがとうございました。クラブで話し合い有効に使いたいと思います。

長野県茅野ロータリークラブより第四グループに100万の支援金を頂きました、5クラブ人数割りで配りました。

2月16日 第四グループ訪問 各クラブの現況

輪島クラブ 山上会長、事務方 在 例会まだ、1回理事会

珠洲クラブ 会長、幹事と連絡つかない、事務方(商1会議所)と話しました、避難生活多い、連絡つかない会員多い 例会まだ

内浦クラブ 草山会長と話す 例会まだ

能都クラブ 三宅会長、次期会長と会う 15日に初めての役員会 見舞金10万配った、そろそろ活動する。

穴水クラブ 23日(金) 会長宅で8人集まり3月後半から様了を見て、始めようと 例会場見つからない。会長宅を予定

埼玉北ロータリークラブより会長電話あり、3月22日に穴水の身障者支援施設 石川県精育園に見舞、慰問に同行願いますとの、事です。

第四グループガバナー 補佐 舞谷 繁より

2024年2月22日 能都ロータリークラブ週報号外一部抜粋にてご紹介

大阪中央RC (2月19日)

キッチンカーで再度来町、ラーメン、タコライス、いちごミルクジュース、スイーツ等を午前中はバイクで各避難所へ配達。午後は柳田小学校で地域の皆さんに提供しました。能都RC会員も各避難所への道案内や片付けのお手伝いをし、温かいラーメンを御馳走になり満腹。大阪中央RCの皆さんの行動力と明るさ優しさに元気もらいました。



大阪中央RC (1月19日)

大阪から遠路、トラック、ワンボックス2台、乗用車に物資を積んで来ていただきました。両クラブ会員、自衛隊の方々の力も借りて



柳田体育館に搬入、町への物資だけでなく会員への物資も頂き、大阪中央RC、台北圓山RC連名での暖かい御見舞いの手紙も頂いております。

松原中RC (大阪) (2月6日)

能都RC会員が使用するため軽トラック寄贈の申し出があり、この日大阪から中原様が一人で陸送してきて下さいました。荷台には飲料水のおまけつきです。この日の午後の特急バスで金沢へ、その後電車で大阪に帰るとの事で能登町には一時間弱の滞在でした。この軽トラは会員に優先して貸し出されます。使用申込は幹事までお願いします。



2024年2月22日 能都ロータリークラブ週報号外一部抜粋にてご紹介

※鵬学園高等学校HPより



インターアクトクラブ 石川県立飯田高等学校（スポンサークラブ：珠洲RC）被害状況

○屋外の状況

- ・登校坂はあらゆるところに亀裂や陥没、段差ができた。
- ・校門が倒れて破損した。
- ・校庭の石碑が倒れて破損した。
- ・駐車場のあちこちに亀裂や陥没、段差ができた。
- ・グラウンドに多数の亀裂や段差ができた。
- ・建物の周りは、亀裂や陥没、段差ができた。

○校舎の外回り

- ・外壁のあらゆるところに亀裂。
- ・外壁が剥がれ落ちた。
- ・ウエイトリフティング場や相撲部部室の壁の破損
- ・煙突の傾斜

○校舎内・体育館

- ・校舎のジョイント部分の破損。
 - ・下足箱の破損。
 - ・各所教室の備品の破損。
 - ・空調設備の破損。
 - ・渡り廊下の壁の破損
 - ・洗面所の破損
 - ・体育館の床の段差
 - ・蛍光灯などの破損
- その他多数あり。

インターアクトクラブ 石川県立飯田高等学校（スポンサークラブ：珠洲RC）被害状況

屋外の様子



インターアクトクラブ 石川県立飯田高等学校（スポンサークラブ：珠洲RC）被害状況

外から見た建物の様子



インターアクトクラブ 石川県立飯田高等学校（スポンサークラブ：珠洲RC）被害状況

職員室の様子



音楽室の様子



インターアクトクラブ 石川県立飯田高等学校（スポンサークラブ：珠洲RC）被害状況

体育館と渡り廊下の様子





こ たき とも あき
古瀧友章

宇都宮東RC
2024年1月16日入会

ニッコウエステート(株)
代表取締役

よろしくお願ひ致します。



かすがや じゅん いち
春日谷順一

宇都宮東RC
2024年2月20日入会

とちぎんTT証券(株)
宇都宮支店
支店長

この度、仲間にして頂きありがとうございます。何卒、よろしくお願ひ致します。



ちからいし とし あき
力石敏明

宇都宮西RC
2024年2月29日入会

(株)アールジービー
代表取締役

様々な角度や視点から、たくさんの事を学ばせて頂きたいです。

追 悼 さ と う ゆき ただ
佐藤 行正

2024年3月1日逝去(享年69歳)
所属 宇都宮ロータリークラブ



1997-98年度 ロータリー財団委員長
2004-05年度 会計
2006-07年度 職業分類委員長
2008-09年度 会計
2013-14年度 会計

ロータリー財団 準PHF

米山記念奨学会 米山功労者

【ロータリー
特別月間】

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 / 米山月間	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

【地区内
主要行事】

月	日・曜日	地区内	場 所
4	14(日)	24-25地区研修・協議会	ライトキューブ宇都宮
	14(日)	青少年交換第4回オリエンテーション	
	20(土)	真岡西ロータリークラブ創立40周年記念式典	フォーシーズン静風
	21(日)	米山奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	
	28(日)	職業奉仕・クラブ奉仕 合同セミナー	ホテルニューイタヤ
5	12(日)	栃木西ロータリークラブ60周年記念式典	ホテルサンルート栃木
	19(日)	栃木ロータリークラブ70周年記念式典	栃木グランドホテル
	25(土)	シンガポール国際大会「栃木ナイト」	ムルコキ コリアン バーベキュー
6	1(土)	宇都宮さつきロータリークラブ10周年記念式典(予定)	ベルヴィ宇都宮
	1(土)	RLI 卒後コース	ホテルニューイタヤ
	2(日)	氏家ロータリークラブ60周年記念式典	ホテル清水社
	9(日)	青少年交換第5回オリエンテーション	
	9(日)	24-25年度第5回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	16(日)	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ





国際ロータリー第2550地区2月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未 満	
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員		
第1グループ	大 田 原	3	19	19	0	0	0	0	0	0	1	0
	黒 磯	2	35	35	0	0	0	0	0	0	3	0
	西 那 須 野	3	46	44	0	0	1	3	-2	0	2	0
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	2	22	22	0	0	0	0	0	0	1	1
第2グループ	鳥 山	2	15	15	0	0	0	0	0	0	2	0
	氏 家	3	24	27	1	0	3	0	3	0	3	1
	矢 板	2	7	7	0	0	0	0	0	0	1	0
	馬 頭 小 川	3	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	4	13	12	0	0	0	1	-1	0	0	0
第3Aグループ	宇 都 宮	3	101	101	0	1	5	5	0	0	3	1
	宇 都 宮 西	4	64	65	1	0	2	1	1	0	0	1
	宇 都 宮 北	5	42	41	0	1	2	3	-1	0	0	1
	宇 都 宮 90	3	40	41	1	1	6	5	1	0	5	2
	(宇都宮90結・衛星)	2023.10.6脱会		0	0	0	0	4	-4	0	0	0
	宇 都 宮 陽 北	4	46	48	0	0	5	3	2	0	6	3
第3Bグループ	宇 都 宮 東	4	105	103	1	1	3	5	-2	0	0	3
	宇 都 宮 南	4	55	56	0	0	3	2	1	0	7	1
	宇 都 宮 陽 東	5	47	50	0	0	5	2	3	0	10	0
	宇 都 宮 陽 南	4	23	22	0	0	1	2	-1	0	6	4
	宇 都 宮 さ つ き	3	26	25	0	0	0	1	-1	0	4	2
第4グループ	真 岡	4	50	51	0	0	2	1	1	0	0	0
	益 子	4	29	33	1	0	4	0	4	0	3	0
	真 岡 西	4	38	38	0	0	0	0	0	0	5	0
	下 野 上 三 川	4	18	22	0	0	4	0	4	0	3	1
第5グループ	小 山	3	20	21	0	0	1	0	1	0	1	0
	小 山 南	4	15	16	1	0	1	0	1	0	2	0
	小 山 東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	4	21	23	1	0	2	0	2	0	0	5
	小 山 中 央	2	24	23	0	0	0	1	-1	0	2	0
第6グループ	栃 木	4	47	47	1	0	1	1	0	0	5	0
	栃 木 西	4	32	32	0	0	2	2	0	0	1	0
	岩 舟	2	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	15	17	0	0	2	0	2	0	1	0
	栃 木 南	4	38	41	0	0	3	0	3	0	11	1
第7グループ	日 光	2	21	19	0	0	1	3	-2	0	4	0
	鹿 沼	5	61	63	0	0	3	1	2	0	2	4
	今 市	2	39	39	0	0	1	1	0	0	1	1
	鹿 沼 東	4	39	41	0	0	2	0	2	0	5	0
	鹿 沼 中 央	3	15	14	0	0	0	1	-1	0	2	0
	今 市 きぬ	3	29	30	0	0	1	0	1	0	0	0
第8グループ	足 利	2	22	20	0	0	0	2	-2	0	1	0
	足 利 東	3	35	34	0	0	1	2	-1	0	2	0
	足 利 西	2	9	10	0	0	1	0	1	0	0	0
	足 利 わ た ら せ	3	32	27	0	0	0	5	-5	0	0	0
第9グループ	佐 野	2	54	50	0	2	1	5	-4	0	0	0
	葛 生	4	38	39	0	0	2	1	1	0	0	0
	田 沼	4	45	44	0	0	0	1	-1	0	0	0
	佐 野 東	2	21	21	0	0	0	0	0	0	2	0
	48RC		1595	1602	8	6	71	64	7	107	32	

※宇都宮90結ロータリー衛星クラブ終結 2023年10月6日



10 アクセス解析レポート

DX推進委員会 稲見 君枝 (宇都宮さつきRC)

国際ロータリー第2550地区のホームページ(<https://www.rid2550.com/>)がリニューアルされてから1年半が経過しました。今年度のホームページ閲覧数等のアクセス解析レポートを報告致します。



図表 ①2023年7月～2024年3月

2023年7月から2024年3月までのホームページ閲覧数は、6,559ユーザー、その中で新規閲覧は、6,289ユーザーになっています。

特に目を引くのは、2023年10月22日に、閲覧が244ユーザーで突出して高い数字になっています。これは、各地で「ポリオ根絶募金キャンペーンを実施」の効果として、一般の方々がロータリークラブのホームページを閲覧して頂いたと推測されます。

セッション (セッションのメイン...)	セッション
Organic Search	7,138
Direct	3,163
Referral	584
Unassigned	40
Organic Social	24

図表② 閲覧経路

閲覧経路を確認すると、Organic Search(一般的な検索)が7,138セッション、Direct(ブックマークやお気に入り登録からのアクセス)が、3,163セッションとなっています。

これは、新規で検索する方と、ロータリーの会員が自分のパソコン等に登録して何度も閲覧していると推測されます。

今後もロータリー会員がホームページをより多く活用して頂くとともに、広く地域社会にロータリーの活動を知って頂くツールとして役立つように努めます。